

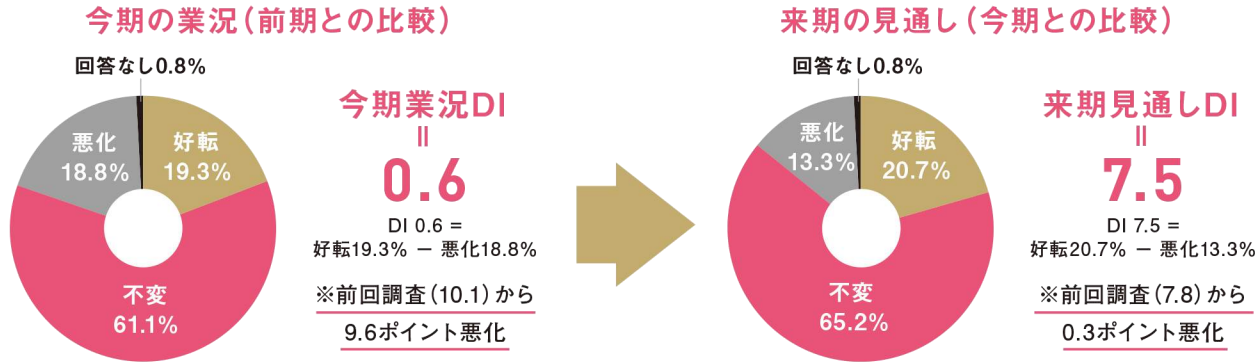
世田谷区における中小企業の景況

第64回調査実施概要

1.調査時期：平成30年7月2日～7月12日 2.対象期間：平成30年4月～平成30年6月期、および平成30年7月～平成30年9月期見通し 3.調査対象：東京商工会議所世田谷支部会員（2,952社）①製造業・建設業・運輸業・その他の業種（②～④を除く）…資本金3億円以下、または従業員300人以下 ②卸売業…資本金

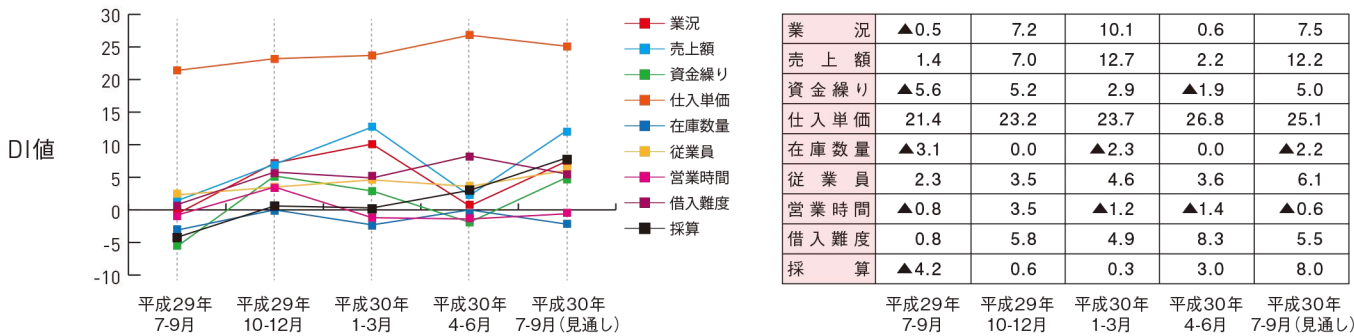
業況

今期（平成30年4月－6月期実績）の業況DIは、0.6ポイントで前期から9.6ポイント悪化となり、3期ぶりに低下した。来期の業況見通しDIは7.5ポイントと、前回調査から0.3ポイント悪化する見通し。



主な指標別の傾向

今期、借入難度8.3（前期比＋3.4）、仕入単価26.8（同＋3.1）、採算3.0（同＋2.7）など4指標でポイントが増加し、売上額2.2（前期比▲10.5）、資金繰り▲1.9（同▲4.8）など4指標でポイントが減少した。来期見通しは、売上額12.2（当期比＋9.9）、従業員6.1（当期比＋2.5）など5指標で改善が見込まれる。



主要景況指数表 [今期の状況 (前期比)]

(注)調査項目：業況(好転⇨悪化)、売上額(増加⇨減少)、資金繰り(好転⇨悪化)、仕入単価(上昇⇨低下)、在庫数量(増加⇨減少)、従業員(増加⇨減少)、営業時間(延長⇨短縮)、借入難度(容易⇨困難)、採算(好転⇨悪化)

	業況	前年同期比	売上額	前年同期比	資金繰り	仕入単価	在庫数量	従業員	営業時間	借入難度	採算
全体	0.6	2.5	2.2	7.7	▲1.9	26.8	0.0	3.6	▲1.4	8.3	3.0
製造業	▲13.0	11.1	▲11.1	13.0	▲3.7	29.6	13.0	7.4	▲5.6	9.3	▲1.9
建設業	17.7	27.4	11.3	27.4	9.7	22.6	▲1.6	4.8	▲4.8	11.3	14.5
不動産業	3.1	9.4	▲3.1	▲6.3	▲6.3	18.8	0.0	18.8	▲3.1	6.3	▲9.4
卸売業	▲7.1	▲9.5	▲16.7	▲7.1	▲2.4	31.0	0.0	▲4.8	▲2.4	21.4	▲11.9
小売業	▲5.0	▲12.5	17.5	7.5	▲11.3	42.5	▲3.8	0.0	0.0	3.8	13.8
サービス業	4.3	▲3.3	1.1	3.3	1.1	15.2	▲3.3	2.2	3.3	4.3	0.0

主要景況指数表 [来期の見通し (当期比)]

	業況	売上額	資金繰り	仕入単価	在庫数量	従業員	営業時間	借入難度	採算
全体	7.5	12.2	5.0	25.1	▲2.2	6.1	▲0.6	5.5	8.0
製造業	13.0	9.3	5.6	27.8	1.9	5.6	▲3.7	5.6	3.7
建設業	14.5	14.5	8.1	19.4	0.0	11.3	▲3.2	9.7	4.8
不動産業	0.0	0.0	▲6.3	25.0	▲12.5	9.4	3.1	9.4	▲3.1
卸売業	11.9	16.7	7.1	35.7	▲2.4	7.1	▲2.4	11.9	11.9
小売業	5.0	18.8	3.8	35.0	▲3.8	▲1.3	▲2.5	0.0	21.3
サービス業	2.2	8.7	6.5	14.1	▲1.1	7.6	4.3	3.3	3.3

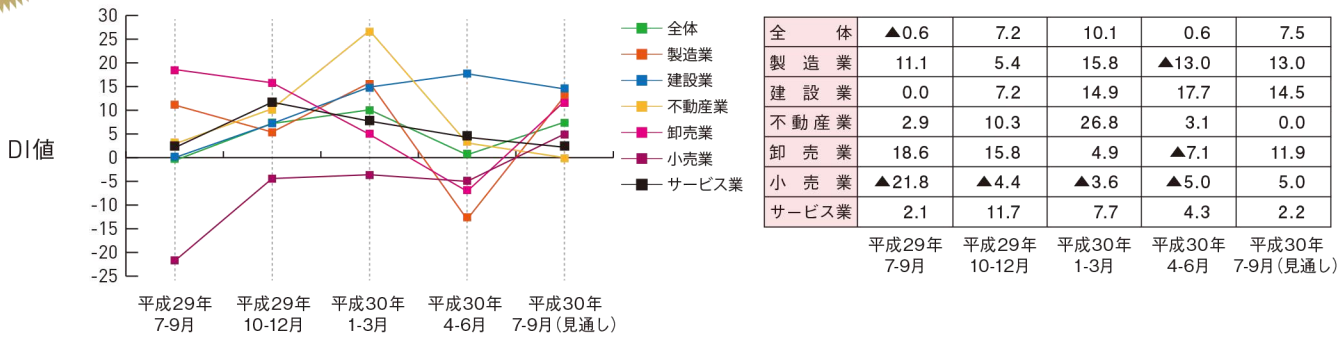
概況：<DI(Diffusion Index) とは…> DI(%) = 「良い」「増加」等企業割合 - 「悪い」「減少」等企業割合

DIとは、各設問の項目について、「増加」「好転」したとする企業の割合から、「減少」「悪化」したとする企業の割合を差し引いた値です。したがってDIがプラスを示している場合は、全体として「増加」「好転」したとする企業の割合が多く、景気(またはそれぞれの要素)が上向きの傾向にあることを示します。逆にマイナスを示している場合は、景気が低迷の傾向にあることを示します。

1億円以下、または従業員100人以下 ③小売業…資本金5千万円以下、または従業員50人以下 ④サービス業…資本金5千万円以下、または従業員100人以下 4.調査方法：調査票郵送～郵送・FAXにて回収。世田谷信用金庫・昭和信用金庫に協力依頼。 5.回収状況：合計362社（回収率12.3%）製造業…54社・不動産業…32社・小売業（飲食業含む）…80社・建設業…62社・卸売業…42社・サービス業…92社 ※数値については小数点第2位を四捨五入しており、計算値が一致しない場合がある。

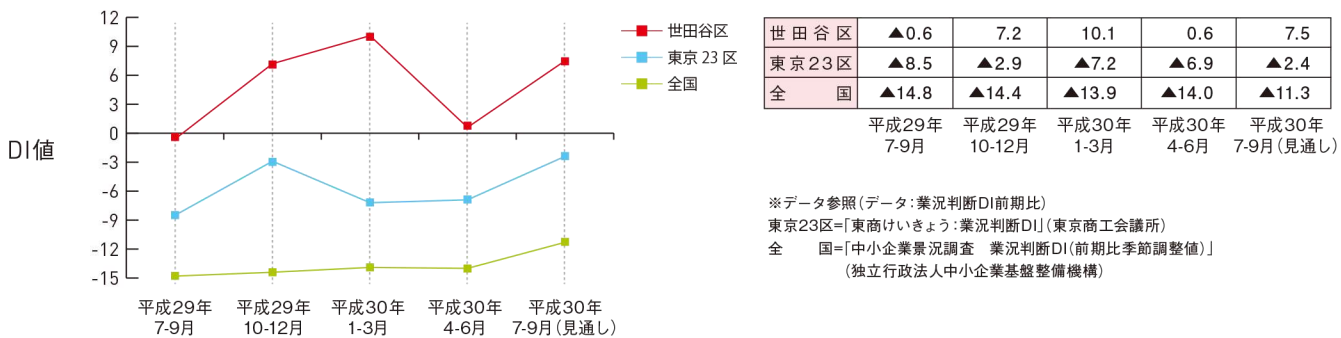
業種別の動向

今期の業種別DIは「建設業」17.7（前期比＋2.8）のみ改善する一方で「製造業」▲13.0（同▲28.8）、「不動産業」3.1（同▲23.7）など5業種が悪化した。来期は「卸売業」11.9（当期比＋19.0）、「小売業」5.0（同＋10.0）など3業種で改善となる見通し。



東京都・全国との比較

「世田谷区」(0.6ポイント、前期比▲9.6)は3期ぶりに悪化、「全国」(▲14.0ポイント、同▲0.1)も微減ながら悪化した。「東京23区」(▲6.9ポイント、同＋0.3)は改善。来期は、「世田谷区」(7.5ポイント、当期比＋6.9)、「東京23区」(▲2.4ポイント、当期比＋4.5)、「全国」(▲11.3ポイント、当期比＋2.7)ともに改善する見通し。



経営上の問題点

1位「従業員の確保難」37.3%（前期比＋6.4ポイント）は9期連続で1位、2位「人件費の増加」28.7%（同＋4.7ポイント）は4期連続で2位となり、3位「仕入単価、下請単価の上昇」27.6%（同＋5.3ポイント）は3期連続で3位となった。4位「購買ニーズの変化への対応」18.5%（同▲1.1ポイント）は前回順位5位より上昇。5位「新規参入者の進出や同業者の増加」16.9%（前期比▲3.4ポイント）は前回順位4位より下降。同率5位「人件費以外の経費の増加」16.9%（同▲0.2ポイント）は前回順位6位より上昇した。10位「生産設備の不足・老朽化」9.9%（同＋3.3ポイント）は前回順位11位より、11位「店舗・倉庫の狭隘・老朽化」6.6%（同＋0.6ポイント）は前回順位12位より上昇した。

順位	項 目	回答数	回答率	前回順位	順位	項 目	回答数	回答率	前回順位
1	従業員の確保難	135	37.3%	－ 1	11	店舗・倉庫の狭隘・老朽化	24	6.6%	↑ 12
2	人件費の増加	104	28.7%	－ 2	12	取引条件の悪化	18	5.0%	↓ 10
3	仕入単価、下請単価の上昇	100	27.6%	－ 3	13	その他	15	4.1%	－ 13
4	購買ニーズの変化への対応	67	18.5%	↑ 5	14	購買力の他地域への流出	14	3.9%	－ 14
5	新規参入者の進出や同業者の増加	61	16.9%	↓ 4	15	事業資金の借入難	13	3.6%	－ 15
5	人件費以外の経費の増加	61	16.9%	↑ 6	16	在庫の過剰	11	3.0%	↑ 17
7	大企業(大型店)進出による競争激化	56	15.5%	↓ 6	16	在庫の不足	11	3.0%	↑ 17
8	需要の停滞	43	11.9%	－ 8	18	金利負担の増加	7	1.9%	↑ 19
9	販売単価、製品単価、請負単価の低下・上昇難	37	10.2%	－ 9	19	生産設備の過剰	4	1.1%	↑ 20
10	生産設備の不足・老朽化	36	9.9%	↑ 11	19	代金回収の悪化	4	1.1%	↓ 15

※複数回答(3つまで選択)のため、回答率の合計は100%を超える。